

# 行政報告

(平成15年3月定例町議会)

議員各位におかれましては、公私共に何かとご多用のところ、第1回定例町議会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

この機会に、去る12月定例町議会以降における町政執行の概要について報告させていただきます。

## (総務課行政報告)

はじめに、2月8日の8時11分から約37分間発生しました十勝岳の火山性微動についてではありますが、臨時火山情報第1号の発表を受け、総務課職員と北消防署員による情報収集体制をとり、十勝岳地区の入山者に対する下山、入山規制を実施しました。

また、火山情報発表に併せて、防災行政無線により十勝岳の状況を町民の皆様へ、適時、周知を図ったところでもあります。

結果、十勝岳で噴火はなかったことを確認し、町民に対しまして、午後5時32分に最終の周知をしたところでもあります。

現在の状況は、特に目立った火山現象もなく、2月8日以前の状態になっておりますが、北海道大学の岡田教授の助言を受けて登山口に注意喚起の看板を設置したほか、温泉宿泊施設内に注意喚起の掲示と声かけの協力をいただきました。

次に、2月18日から19日の2日間にわたって実施した十勝岳噴火総合防災訓練につきましては、平成7年度から十勝岳火山防災会議協議会を構成する上富良野町と美瑛町の合同形式により開催しているもので、今回で8回目の実践訓練となりました。

訓練の内容は、本年も十勝岳噴火による大規模泥流の発生を災害想定として「通信連絡訓練」、「避難訓練」、「救助救出訓練」、「避難路確保・道路閉鎖・JR富良野線遮断」の4項目を柱に実施しました。

今年も昨年同様、十勝岳の火山活動状況に併せて、郡部地域の緊急危険区域には小規模泥流の発生で避難指示を、市街地の緊急危険区域には大規模泥流の発生報告を受けた想定での避難指示を発令して、火山活動をにらんだ段階的な避難指示を試みました。

また、昨年同様、避難指示後の訓練にも重点をおき、避難指示区域に避難していない者がいるという想定で、1軒1軒を廻る未避難者の確認活動を自衛隊・警察・消防の協力を得て実施し、緊急危険区域内にある指定避難所から、より安全な避難所への避難者輸送を自衛隊の協力により実施しました。

また、避難所で急病者が発生したことを想定し、自衛隊、消防の連携でヘリコプター及び救急車による救助救出訓練も実施しました。

今回で2回目になりますが、北海道上川支庁の主催による「十勝岳噴火災害対策現地合同本部会議」が開催され、各関係機関による総合的な災害応急対策が検討されました。

ここに、参加されました多くの町民の方々をはじめ、各関係機関・団体の方々のご協力に対しまして、厚くお礼を申し上げます。

なお、災害対策本部内の関係機関との情報伝達の方法・要請事項などの課題については、災害対策本部会議訓練と関係機関との連絡調整会議訓練を分離して開催したことによって、より明確に諸対策を確認できたことは、大きな成果であったと思いますが、今後の取り組まなければならない多くの課題も検証することができましたので、日頃から関係機関と連絡調整を図り、連携の強化に努めてまいりたいと思います。

## （企画調整課行政報告）

富良野地区広域市町村圏振興協議会における市町村合併の経過に関しましては、10月15日開催の委員会において、広域での市町村合併に関する研究を進めるべく、協議会内に総務・企画担当課長による「研究会」を設置いたしました。

12月25日、研究会から研究結果の報告を受け、協議会として市町村合併に関する共通の情報を町民に提供するため、パンフレットを作成し、全世帯に配布をしたところであります。研究結果に基づき、委員会において市町村合併についての今後の進め方などを協議してまいりましたが、1月26日開催の委員会において、圏域5市町村の組み合わせによる合併協議を進めていくことは困難との判断に至り、合併協議会の設置は見送りとなったところであります。

市町村合併に関する町の取り組みについては、町広報誌を通じて情報提供を行うと共に、各機関との意見交換を逐次行ってまいりました。

12月20日には、町民講座としまして、北海学園大学の横山教授を招いて、市町村合併問題を通じた町の将来像について講演をいただき、今後のまちづくりを考える機会の提供を行ってまいりました。

また、協議会で作成したパンフレットを用いて「市町村合併」をテーマに、1月22日、23日に各種団体との懇談会を、1月27日から30日までの4日間に、各地域を対象に10会場で懇談会を開催し、期間中141名の町民の出席をいただいて、市町村合併等に関するご意見を拝聴いたしました。また、議員各位にもご多忙の中をオブザーバーとしてご臨席いただきましたことに対し、この場を借りましてお礼申し上げます。

今後、町としまして、国等や他市町村の動きを注視する中、町政懇談会で

いただきました貴重なご意見を踏まえまして、引き続き広域行政・市町村合併などの自治体のあり方について研究を進めてまいります。

また、市町村合併が明確な理念もないまま、半ば強制的に進められていることに対し、2月25日東京都で行われました全国町村会・全国町村議会議長会によります「町村自治確立総決起大会」に出席してまいりました。

次に、陸上自衛隊と米国海兵隊との実働訓練についてであります。両国の部隊がそれぞれの指揮系統に従い、共同して作戦を実施する場合における相互連携を目的として、2月24日から3月3日までの8日間、上富良野演習場において積雪寒冷地における、実働訓練が行われているところであります。

次に、要望関係であります。2月24日から25日にかけて平成15年度防衛施設周辺整備事業について、地域住民の生活の安定と継続事業の促進、並びに新規事業の採択、当該事業に係る予算確保について、防衛施設庁・防衛庁陸上幕僚監部に対しましても要望を行ってまいりました。

#### ( 商工観光まちづくり課行政報告 )

次に、年末に実施した商工会の年末大売出し事業についてであります。12月10日から30日までの間、売上1億円を目標に、参加事業者104店が売り出しを行い、約8千1百60万円の売上げであったとの報告がありました。

観光関係では、去る2月9日、町の四彩イベント最後の第39回かみふらの雪まつりを日の出公園特設会場で開催したところ、好天にも恵まれて約1,500名の参加をいただきました。会場には、上富良野駐屯地第2戦車連隊制作による大雪像1基と商工会青年部の皆さんによる幼児用滑り台、イベントでは、町民参加のおもしろ雪だるまコンテスト、親子ちびっこボブスレー大会のほか、今回初めて行ったスノーモービル・ラフティングは人気が高く、

長蛇の列ができました。また、お楽しみ抽選券の入った餅まきや豚サガリ絶叫大会など、大いに盛り上がり、子供から大人まで、多くの方々に楽しんでいただきました。

また、雪像作り期間中、ご支援いただきました自衛隊、建設業協会、女性連絡協議会、自衛隊協力会女性部をはじめ各関係機関の皆様方に深くお礼を申し上げます。

### （社会教育課行政報告）

次に成人式であります。本年は1月13日が成人の日でありましたが、本町では成人者が出席しやすいよう考慮しまして、前日の12日の日曜日に社会教育総合センターにおいて議会議員をはじめ、来賓各位のご出席をいただきまして、成人式を挙行いたしました。新成人115名の出席のもと、厳粛なうちに式を終了し、成人者の旅立ちを祝ったところであります。

### （総務課行政報告）

次に、平成15・16年度における競争入札参加資格審査についてであります。1月20日から2月20日までの1か月間、申請の受け付けを行い、建設工事で616業者、設計等で311業者、物品その他で263業者からの申請を受理したところであります。特に、入札及び契約の適正な執行に向け、今回の受付から、物品その他の分野においても資格要件を公告し、申請書提出の徹底を図ったところであります。

なお、町内業者の申請は、建設工事で土木・建築・管・電気の主要4業種で20業者、塗装の1業者を加え21業者、物品その他で28業者となっております。

最後に、建設工事の発注状況であります。12月定例町議会において報告した以降入札執行した建設工事は、2月25日現在で8件、事業費総額3億

4,910万4,000円となっており、累計で83件、19億4,771万3,250円とな  
っております。また、年度中契約変更があった事案の変更額を加えた事業費  
総額は、19億4,891万250円となっております。

なお、お手元に「平成14年度建設工事総括表」を配付しておりますので、  
後ほどご高覧いただきたく存じます。

以上をもちまして、行政報告といたします。

